

●質問

1. 横浜市の山下埠頭へのカジノを含むIR誘致の是非について

(1)立憲民主党ホームページに掲載されている「基本政策」では、「ギャンブル依存症を拡大させるなどさまざまな社会コストが生じるカジノ解禁は認めません。」とされ、神奈川県連合のホームページに掲載されている「基本政策」には、同じ文章に加えて「特にIRの県内設置には反対します。」と書かれています。

横浜市は「現在は白紙」と強調していますが、山下埠頭へカジノを含むIR設置に動き出すのではないかと懸念が絶えません。

ご自身は山下埠頭へのカジノを含むIR設置の是非についてどのようにお考えですか？反対あるいは賛成する理由とともにお答えください。

【回答記入欄】

私、かじおあきはカジノを含むIR設置には以下の理由で反対です。

- ①横浜には多くの観光資源があり、カジノに頼らない観光政策が可能であると考えから。
- ②人口減少が懸念される中、「カジノのある街に暮らしたくない」、「カジノのある街で子育てしたくない」との理由で、転入の妨げ、転出に拍車をかける原因になると考えるから。
- ③人の不幸を踏み台にした賭博業収益での経済成長は横浜の健全なイメージを損なうと考えるから。
- ④そもそもカジノで経済成長を期待することこそギャンブルそのものであり、失敗した時には市民全体で背負わなければいけない大きな負の遺産となると考えるから。

(2)カジノを誘致することによる弊害（ギャンブル依存症の拡大、周辺地域の治安の悪化等）の懸念については、どのようにお考えですか？

【回答記入欄】

弊害として、ギャンブル依存症の拡大、反社会勢力などの資金源・マネーロンダリングの可能性、周辺地域の治安悪化などが挙げられるが具体的な対策が明確でなく、たとえ対策をとっても大きなリスクは避けられないと考えます。

2. 横浜市中学校におけるハマ弁の存続・給食の導入の是非について

(1)現在、横浜市の公立中学校では給食は行われておらず、原則家庭からの弁当持参、但し希望者には「ハマ弁」や業者弁当（一部学校のみ）を有償で提供するという形になってい

ます。しかし「ハマ弁」は美味しくない、制度が使いづらいなどと生徒・保護者の不満の声も多く、利用率は低迷しています。そうしたなかで、ハマ弁の改善あるいは廃止、更には完全給食を望む話しも多く聞かれます。

ご自身は給食を導入すべきとお考えでしょうか？ あるいは、現状維持でよいとお考えでしょうか？

① 給食を導入すべき

② 現状維持（原則弁当＋ハマ弁）でよい

【回答記入欄】 [①]

↑ ①か②を記入

(2) ①と答えた方にお聞きします。給食は次のいずれの方式がよいと考えますか？

ア 自校方式

イ 親子方式

ウ センター方式

【回答記入欄】 [エ]

エ ハマ弁の給食化

↑ ア～エのいずれかを記入

その理由をお書きください

【回答記入欄】

ご家庭の負担軽減、食育、早期導入の観点から「味・温かさ・給食費」など生徒、保護者の声を十分に反映したハマ弁の給食化を進めるとともに、その他の方式についても地域事情を勘案した上で早期に実現できる方法を検討していくべきと考えます。

(3) (1)で②と答えた方にお聞きします。現状維持でよいとの理由をお書きください

【回答記入欄】

3. ヘイトスピーチ対策について

一部の人たちが公共施設での講演会や公園、駅前などの街頭宣伝において、特定の人種・民族などの少数者に対し、暴力や差別を煽ったり、またはおとしめたりする侮蔑的な言動を行う行為（ヘイトスピーチ）が問題になっていますが、それに対するご自身の見解と、横浜市としてどのような対策を行うことが必要と考えるかをお答えください。

【回答記入欄】

ヘイトスピーチはあきらかな人権侵害であり、決して許せない行為です。川崎市同様に横浜市でもヘイトスピーチに対する厳しい規制を早急に設けるべきです。

4. 訴えたい政策について

今年4月に予定されている横浜市議会議員選挙で、現在、ご自身が最も訴えたいと思っている政策や考え方などについて1つ挙げていただき、訴えたい内容をご記入ください。

訴えたい政策・考え方

【回答記入欄】

高齢者医療・介護の充実・健康寿命延伸のためのコミュニティづくり

その内容

【回答記入欄】

超高齢化社会が進んでいくなか、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムのさらなる充実により、重度な要介護状態となっても、住み慣れた横浜で自分らしい暮らしを続けることができるようになる取り組みを進めなければなりません。

特に認知症などは、大きな不安要因の一つです。今後、増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、家族のケアも考慮した体制の拡充が重要であると考えます。

また、合わせて健康寿命延伸のために高齢者の皆さんが日常生活において、障害や持病の有無にかかわらずいきいきと暮らし、子どもたちや若い世代とのスポーツ・芸術・地域行事などの交流により活動的な日々を送れる環境を整えることが重要です。楽しみながら健康を維持し、さらに地域の高齢者・障害者等を支える活動にも幅広く参加できるコミュニティづくりを進めます。

以上